表紙：クラフト“寒い冬も元気いっぱい！”
季節はすっかり冬になり、毎日寒い日が続きますね。
でも雪だるまのみんなはそんな寒さもへっちゃら！みんな楽しそうに雪の中で仲良く遊んでいます。
身につけたカラフルな帽子やリボンが、雪景色の中で映えてとっても綺麗です。
キンダーのみんなも寒さに負けず、元気いっぱいお友達と遊ぼうね！

アイデアを
お待ちしています！

「Hiraku」では、英語・幼児教育の
最新ニュースやトピックなど皆さまに
役立つ情報をお届けいたします。

- 最近気になっていること
- 取り上げてほしい話題
- 新しいコンテンツ　etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしています！

「Hiraku」編集部
TEL：06-6135-0150
Mail：hiraku@kinderkids.ed.jp

Hiraku
2024年1月発行　Vol.31
次回3月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ
TEL：06-6135-0150
〒530-0033 大阪市北区池田町 3-1
ぷらら天満ビル 2F
www.kinderkids.com

未来をひらく 思いをつたえる

Hiraku

31

★関東初のアカデミー校世田谷校オープン！　★海外一時転園体験レポート
★保育士カナダ研修　★Grad Club English Speech Contest 2023
★Grad Chat 英検対策集中コース開講！！

日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.

KINDER KIDS International Academy

SETAGAYA SCHOOL OPEN!

関東初のアカデミー校、世田谷校が開校！

これまで関東エリアには横浜校、東京本校、品川校、たまプラーザ校の4つのスクールがあり、ベイビークラスからK3まで、約550名の方にご在籍いただいており、多くの方に週5回やロングコースをご利用いただいております。そのようなニーズに応じるべく、世田谷校はプリクラスから週5日、ロングコースがメインとなり日本語・中国語・体操が本課に含まれる**「アカデミー校」**として世田谷区桜新町に開校いたしました。

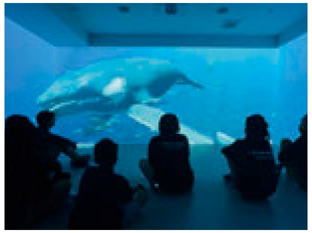
2020年にスタートして以来、大阪で3校、名古屋で1校を展開してきたアカデミー校で培われてきた**トリリンガル（英・日・中）教育**、プロの指導者による脳の発達期に適した**機能的体操プログラム**、ランチとおやつを園内で専任シェフが手づくりする**自園調理**、広範囲から通園可能となる3ルートを運行する**スクール送迎バス**などが世田谷校には導入されています。

キンダーキッズでは、子どもたちの健やかな成長と保護者の皆様の負担軽減のためのサービスをこれからも充実させてまいります。

ICT教育機器と充実の設備を備えた、最先端スクール

世田谷校は、さまざまな**最新のICT教育機器**を導入することで、より質の高い教育を提供し、生徒たちが自ら学びを進めることができる環境を整えています。最大の特徴は**3面がスクリーンになったシアタールーム**で、深海や南極、火山、ピラミッド、宇宙、恐竜の時代など、スクールにいながらいろんな世界を体感でき、視覚、聴覚を刺激してテーマ学習をより**リアルに楽しく**体験できます。

またこのスクリーンを使用した**キンダーコネクト**で国内・海外のキンダーキッズ生とリアルタイムでディスカッションしたりゲームをしたり、コミュニケーションを取ることができます。



プロジェクションマッピングを活用したシアタールーム

「東京の軽井沢」と呼ばれた関東初の高級別荘地、桜新町

世田谷校がある桜新町は漫画家・長谷川町子さんが暮らした町だったことから長谷川町子記念館や長谷川町子美術館があり、町のあちこちにはサザエさんの銅像やイラストが設置されています。世田谷校の前の道にも「サザエさん通り」の名がつけられ、どこか懐かしい雰囲気も残る庶民的な商店街があります。

一方で桜新町は大正初期に「東京の軽井沢」と銘打たれ**関東初の高級別荘地・郊外住宅地**として分譲されたという歴史も持っています。電燈や電話、下水道が整備され、後には駐在所も設置されるなど当時の住宅地としては非常に先進的な環境でした。

高級住宅地として整備されたゆったりとした街並みと、サザエさんに描かれるアットホームな街の雰囲気を併せ持った桜新町は、現在も住宅地として人気の高い町です。

桜新町駅西口のサザエさん像

施設長からのメッセージ

施設長
尾嶋　純奈

関東エリア初のアカデミー校、世田谷校が1月9日に無事開校を迎えることができ、保護者の皆様ならびに関係者の皆様に心からの感謝を込めてご挨拶申し上げます。「毎日、スクールに行きたい！」と子どもたちに思ってもらえるような、楽しく元気に過ごせる環境作りに、私たちは日々取り組んでいます。新しく開校するスクールだからこそ、子どもたちと一からたくさんの新鮮な思い出を一緒に作っていければと思っております。私は過去にも新規校の開校に携わってきた経験があるので、その経験を大いに活かせるようスタッフと協力し、子どもたちと信頼関係を育むことを大切にしています。一人ひとりの成長に寄り添って、お子さまの成長を皆さまと一緒に見守り、サポートできるように取り組んでまいります。

新しく開校した世田谷校で新しいお友達、先生と楽しいスクールライフを満喫しましょう！年間を通じて多様なイベントを開催し、それらを通じてお子さまの成長をご覧いただく機会もご用意しています。卒園時には、「世田谷校に通って本当に良かった」と感じていただけるよう、スタッフ一同、日々努力を続けます。

世田谷校HP

東京都世田谷区
桜新町1-2-5

海外一時転園 体験レポート

Eくんとお母様、
オークビル校 施設長 Stephanie Good

E.K.くんのお母様にインタビュー

[海外転園]
2023/7/29～8/12
天王寺夕陽丘校K3
↓
オークビル校JK

▶海外転園を決めたきっかけや理由をお聞かせください。

「最愛の息子に『人種のるつぼ』であるカナダで異文化交流をさせたい」と決心しましたが、同時に自分が行きたいという気持ちも一杯で、「子どもを預けながら親が観光できるなんて最高！」と軽い気持ちで申し込みました。

▶カナダへの入国はスムーズでしたか?入国書類やフライト乗り継ぎなど、注意が必要なことなどあればご共有ください。

ハーグ条約に関する渡航同意書の準備を事前にキンダーから促されていたので、トロント空港で提示を求められた時には「教えてもらっていて良かった！」と感謝しました。また乗り継ぎでもアメリカに入国する時は**ESTA（電子渡航認証システム）の認証**を受けなければなりません。同行していた私の友人は申請し忘れていて、復路のチケットを買い直さなければなりませんでした。

▶カナダのキンダーキッズを体験したことで特に記憶に残っていることを教えてください。

日本とは学年の区分が異なるので息子は一学年下のジュニア・キンダークラスに通いました。担任のカサンドラ先生が「Eくんが来てくれて、ほかのみんなの刺激になっている」と毎日褒めてくれ、息子は日に日に自信をつけているように見えました。また特に親しい友達もでき、迎えに行くといつも二人で遊んでいました。

▶オークビル校の転園でお母様が感じるお子様の成長や変化について教えてください。

色々な場面で「カナダではこうだった」と話したり、日本で新たな体験をした時に「カナダではどうなの?」と聞くようになりました。自分の中に「日本とカナダ」という異なる二つの世界ができ、世界観が広がったことは、大きな収穫だと思います。また世界に対する興味が出てきたようで、イスラエルでの戦争にも関心を持ち、イスラエルの位置について確認し、どうすればみんながhappyになれるのか一緒に考えています。

▶お母様はE君がスクールに行っている間、どのように過ごされましたか?

息子もよく知る私の学生時代からの友達と一緒に行ったので、二人で観光をしました。オークビルタウンの観光、オンタリオ湖沿いの公園の散歩、乗馬などをして満喫しました。クラークソン校の見学もさせていただき、オークビル校との違いも学びました。

▶カナダ・オークビル校への転園体験のご感想をお聞かせください。

オークビル校は、ステファニー園長はじめ、先生方がすごく温かくて、息子もすぐに馴染んで楽しんでいました。日本よりも緩やかなカリキュラムで穏やかな雰囲気が漂っていて、子ども達が伸び伸びしていました。息子は朝になると「今日は何するの?」と聞いてきて、とても楽しみにしている様子でした。友達もできたので、またすぐに行きたいと話しています。

トロント・ブルージェイズの本拠地
ロジャースセンターで
大谷翔平選手の試合を観戦

Interview with M.L.'s father

[Transfer Period／Enrolled School]
2023/11/6～11/17
Clarkson School JK
↓
Dojima School K2

M , his Parents(the two people on the right)
and Dojima school staff

▶Could you tell us about the pre-departure procedures? Was it difficult to prepare the necessary documents? (出発前の手続きについて必要書類の準備は困難でしたか?)

We completed most transfer documents easily, but had a minor issue with an undated medical form from our pediatrician, requiring M to be re-examined in Japan. (ほとんどの転送書類は簡単でしたが、小児科医からの医療書類に日付の記入漏れという小さな問題があり、息子は日本で再検査を受ける必要がありました)

▶During the stay, if there were any challenges or helpful experiences, please write about them. (滞在中に困った事や役立った経験があれば教えてください。)

The biggest challenge was M's adjustment to walking 20 minutes to school every day, a stark contrast to our car-dependent lifestyle. We'd choose a closer residence to the school in the future, though the school itself was supportive. (車に依存したこれまでの日常生活とは全く違い、息子が毎日 20 分歩いて学校に行くことに適応することが最大の課題でした。次回があればもっと学校に近い宿泊先を選びます。それ以外は、学校はとても親切で、親身になってくれました)

▶Did M overall enjoy the global transfer experience? (総括的にM君/息子さんは、グローバル転園を楽しまれましたか?)

Yes! M loved going to school every morning and would actually ask us to drop him off earlier every morning.
(はい、息子は毎朝学校に行くのがとても楽しみで、「早く連れて行って！」と毎朝頼まれていました。)

▶What is M's most memorable experience in Japan this time? (日本滞在で最も印象深かった体験は?)

M's fondness for trains, especially the Shinkansen, was a highlight of our trip. He was especially excited to be lucky enough to see the Doctor Yellow train, which is very special to him. (息子は鉄道、特に新幹線が好きで、今回の旅のハイライトでした。彼にとって特別な『ドクターイエロー』を見ることができた時、とても興奮していました。)

▶Please tell us about the circumstances that led to the decision for a global transfer. (グローバル転園を決めた背景)

We thought the global transfer program would be a great opportunity for M **to experience a different country and different culture while he is young.** (このプログラムは、息子が若いうちに異なる国や異なる文化を経験する絶好の機会だと思い決めました。)

▶Could you share any growth or changes in M due to the global transfer? (この体験を通じて感じるお子様の成長や変化について)

M's speech improved noticeably, likely due to interacting with other kids and learning about different cultures. He seemed to grasp some cultural differences between Japan and North America.
(地元の友達以外の他の子供たちと交流し、異なる文化について学んだため、息子の会話力は著しく上達しました。また日本と北米の文化の違いについても、色々と感じ取ったようでした。)

On his last day at Dojima School,
he was presented with a mini album
with messages from his friends
and photos of his memories!

▶Would you recommend this program to other parents? Please share your reasons. (他の親御さんにこのプログラムを推奨されますか？)

Yes, I think it's a great program for children, particularly **to experience the culture of Japan and learn to be respectful to others.** If possible, we would have liked for Matthew to stay at least a couple weeks longer. (子どもたちにとって、特に日本の文化を体験し、他人を尊重することを学ぶという点で、素晴らしいプログラムだと思います。できれば、息子には少なくとも2週間以上滞在してほしかった。)

▶Feel free to write your thoughts about the global transfer experience. (グローバル転園体験についての感想)

We had a great time in Japan and is very thankful to both the team at Dojima and the staff at Kinder Kids headquarters for helping make our time memorable.
(私たちの日本滞在を思い出に残る楽しいものにしてくれた堂島チームとキンダーキッズ本部のスタッフに感謝します。)

Kinder Kids グローバル人材育成 プログラム

保育士カナダ研修

キンダーキッズでは、グローバル人材育成プログラムの一環として、カナダへの語学研修を行っています。2023年度は3名の保育士がクラークソン校・オークビル校で3週間の研修を行いました。
日本のキンダーキッズと同じカリキュラムで学んでいるカナダの両校ですが、取り巻く環境や子どもたちのバックグラウンドは大きく異なります。カナダではフランス語も公用語となっているため、カリキュラムにもフランス語のクラスが組み込まれていたり、課外授業にテコンドークラスがあったり、国の決まりで、1日2回の外遊びが義務付けられているなど日本との違いを色々と体験できました。
現地のクラスに参加した保育士たちは、カナダの方が子どもたちが話し合って決める場面が多かったり、自分自身で探求できる時間が多かったりと、子どもたちが伸び伸びしている印象を受けたそうです。一方で、ライティングに関しては、個人差はあるものの日本の子どもたちの方が自分で一から文章を作ることができる子が多いと感じたとか。
研修後のレポートの中で「子どもたちにお父さんとお母さんはどこの国出身なのか聞くと、ペルーとイギリス、中国とアメリカ、ジャマイカとケニアなど様々でした。カナダ出身だよという子の方が少ないくらいでした。」というコメントがあったように、多民族国家であるカナダでは様々なルーツを持つ子どもたちが一緒に学んでいます。そのため肌を塗る用のクレヨンやマーカーも用意されていて、肌の色や髪の毛の色を様々な色で塗っていたことは、研修保育士たちの心に強く残ったようです。

東大阪校
松井 亜衣

《研修期間》
2023/06/12〜06/28

今回カナダ研修に参加して、とにかく先生方がみんな明るいと感じました。コスチュームパーティの日の先生たちの子どもたちに対する反応は一人ひとりに対してWow! You look beautiful!とオーバーリアクションで褒めておられ、私も見習わなければいけないと思いました。
英語面では初め私の英語が通じるのか不安でしたがみんな理解してくれて助かりました。毎日毎日子どもたちと絵を描いたり折り紙をしたり、鬼ごっこに混ざったりしていたのでK3の子からYou are the best teacher, because you always play with us.と言われたのは嬉しかったです。
サマーコンサート前の忙しい時期に訪問させてもらいましたが普段なら見られない練習の様子や、卒園アルバム撮影にも参加させてもらえて良い思い出となりました。ありがとうございました。

東京本校
宮﨑 萌

《研修期間》
2023/06/28〜07/20

カナダでは自然に囲まれた環境の中にスクールがあるのでキンダーキッズでたくさんお勉強をした後は、家族で公園や湖のほとりなど自然の中ででたくさん体を動かすことができ、とても良い環境だと思いました。
一方で日本の方がトイレトレーニングを始める時期も早く、お洋服のボタンもK1にもなればほとんどの子ができるなど、生活習慣のレベルが高いように思いました。またカナダでは私立の学校以外、幼稚園ではほぼ読み書きをしないそうなので、キンダーキッズはすごいんだよとカナダの先生に教えてもらいました!
カナダにはたくさん良いところがあり、同時に日本の幼児教育レベルの高さが海外では高く評価されているのを知り、キンダーキッズ、そして日本の子どもたちがいかに素晴らしいかについても改めて実感した研修でした。

たまプラーザ校
安谷屋 未来

《研修期間》
2023/09/17〜10/07

3週間の研修に参加させていただき、これまで持っていた概念や価値観を根本的に覆されるような体験や、文化や国民性による保育の違いなどを多く見ることができました。同じカリキュラムを使っているのに国によってこんなにも特色が表れるのだと驚きました。
先住民の子どもに対する同化政策の歴史への反省から生まれた、先住民への敬意を表す日「Orange Shirt Day」のスクールイベントで、この悲しい歴史について初めて知りました。このような負の歴史を反省することによって、現在の多様性を尊重するカナダ社会が出来上がったのだと感じました。これまで疑問にさえ感じていなかったことをじっくり考えるきっかけとなる出来事や、現地へ行かなければ湧いてこなかったであろう感情など、この研修の価値を大いに感じました。

今後もキンダーキッズでは、保育士のスキルを向上させるため、有意義な海外研修を実施していきます!

関東・関西の2会場で開催されたスピーチコンテスト2023は、新型コロナウイルス分類変更後初の大会として、生徒たちがそれぞれの才能を発揮した場となりました。自信に満ち溢れた声で聴衆を引きつけた生徒、緊張感に包まれた雰囲気を作り出した生徒、役になりきった迫真のパフォーマンスで観客を魅了した生徒など、各々が独自の魅力を披露しました。英語スキル向上を目指すこのコンテストは、子供たちが練習を重ね、本番で見せる成長を、保護者の方々と共に感動して共有する特別なイベントです。今後も全国から集まる生徒たちを迎え、Grad Clubスピーチコンテストを更に発展させ、子供たちに英語学習の新たな目標やスキルを提供していく予定です。

《各会場の入賞者》

関西

【Champion】R.G.くん(Kyoto G4)
【Winner】M.I.くん(Kyoto G1)　H.O.ちゃん(Myrica G1)
G.C.ちゃん(Dojima G1)　A.Y.ちゃん(Saito G1)
K.O.ちゃん(Kyoto G3)　R.U.ちゃん(Kyoto G3)
A.Y.ちゃん(Saito G4)

【Wayne 特別賞】
I.M.くん(Saito G1)
R.G.ちゃん(Kyoto G2)

関東

【Champion】H.H.くん(Tokyo G2)
【Winner】R.T.ちゃん(Tama Plaza G2)

関西 Champion
毎年入賞のプレッシャーに打ち勝ち、妹のR.G.さんと兄妹で入賞！

R.G.くん(京都校卒・G4)　[受講コース]英検スタディ

G1で入賞、G2でChampion、G3で入賞とKBS京都のスピーチコンテストの最優秀賞をいただき、今年はかなりプレッシャーがありましたが、Championになれて、また一緒に練習をがんばった妹も入賞し、兄妹で賞を取れてうれしかったです。
今年は高学年になり、世界で問題になっているニュースについてのスピーチに挑戦しました。難しい単語を使いたくて辞書で調べましたが、聞いた事のない単語も多かったのでどう発音すれば良いか分からないこともあり、両親に聞いてもらいくり返し練習して克服しました。人前でスピーチすることは簡単なことではないのですが、Show & Tellを何度もやってきたことで自信がついたと思います。
ウェイン園長が最後におっしゃっていた「When you come back every year and give a speech you feel more comfortable. This makes you more confident and helps you to become a better leader!」この言葉がスピーチをがんばれる意欲につながっていると思います！

関東 Champion
ミスを恐れずに、とにかくベストを尽くそうという気持ちで臨みました！

H.H.くん(東京本校卒・G2)
[受講コース]アフター、サタデー、カンバセーション、Grad Chat

オリジナル課題「My Okinawa memory」は2回行った沖縄旅行のことが印象に残っていたので、それを皆さんに紹介したいと思い話しました。聴いてくれている人に興味を持ってもらえるように、何がどう楽しかったか、海がどれだけ綺麗だったかを自分の言葉で表現しました。グラッドチャットのレッスンを受けて、とくに表現したいポイントやジェスチャーの入れ方を教えてもらったので、それを取り入れて練習しました。間違えずに言えるようになるまではお母さんと暗記を競ったり、自分が上手にできた練習動画の聞き流しをして、頭の中に文章をインプットしました。
キンダーキッズ時代のshow & tellや小学校でみんなの前でお話する時と同じだと思って、いつも通りの感じで皆さんに自分のお話を聞いてもらおうという気持ちでスピーチしました。show & tellでみんなの前で発表していた経験は、スピーチコンテストに大変役立っていると思いました。

関西 Winner
耳の聞こえない人にも伝えられるスピーチをしたい

A.Y.ちゃん
(茨木彩都校卒・G4)
[受講コース]
アフター、サタデー、カンバセーション

小学1年生の時、学校の創立10周年記念行事の中で、合唱団が歌う校歌に合わせて、手話のパフォーマンスを披露したことがありました。その経験から耳の聞こえない外国人とのコミュニケーションはどのようにすればいいのだろうと思ったのがきっかけでスピーチの課題にし、耳の聞こえない人にも伝えたくて、手話を取り入れました。
キンダークラスのときのクリスマスコンサートの練習はとても役に立ち、ステージへの登場の仕方や、立ち方、パフォーマンスの練習の他、場面に合わせた先生によるナレーションを参考にしました。先生たちの出身国は様々で、同じ英語でも表現の仕方や発音に個性があるので、普段から耳にしていたことも役に立ったと思います。グラッドのカンバセーションクラスは自分の言いたいことを瞬時に伝える練習になり、アフタークラスではトピックスが面白く語彙もとても増えると思います。

関東 Winner
緊張を克服し、2度目の挑戦で初トロフィー獲得

R.T.ちゃん
(外部園卒・G2)
[受講コース]
サタデー

私は5歳の時からダイオウイカが好きなのですが、ダイオウイカが住んでいる深海が今ゴミだらけになっていることを、1人でも多くの人に知って欲しいと思いスピーチをしました。去年初めて参加してトロフィーを貰えることを知り、いつか私も欲しいと思い今年も参加したら生まれて初めてのトロフィーを貰え、とても嬉しかったです！
家でも登校中でも、時間を見つけて毎日少しずつロずさむように練習しました。抑揚に加えて、ジェスチャーも考えて大きなフリを意識しました。
私は緊張してしまうと声が小さくなるので大きくするのが課題でした。本番で緊張して声が少し小さくなっても大丈夫なように練習の時はいつもより何倍も大きな声で言うように気をつけました。緊張しがちな私は、普段のGrad Clubの学習で前に出て発表することで場数を踏めたのがとても役に立ちました。

GradChat
グラッドチャット

日本人英検講師による英検対策集中講座開講!!

これまでもGrad Chat外国人講師による英検の2次試験レッスンをご提供していましたが、「英検コースを続けて取るのには時間が確保できない…」「スピーキングは問題ないのに1次試験の問題でつまずいてしまっている…」そんな皆様のお声を受けて、日本人講師による「Grad Chat Eiken Lesson」を開講。さらに試験直前のReading・Writing対策レッスンとして「**英検対策集中講座**」をご用意いたしました。

「英検対策集中講座」とは

試験1ヶ月前～試験前日の期間限定の集中レッスン（専用フォームによる完全予約制）

●Reading：グループレッスン40分×3レッスン　●Writing：マンツーマンレッスン20分×1レッスン

でReading/Writingの試験対策に必要な全てを、短期集中で学習することができるパッケージです。

①講師の教育経験が豊富

10年以上英検対策を教えてきた日本人英検講師から、
生徒**最大3名のグループレッスンとマンツーマンレッスン**を受講することができます。

②Writingはマンツーマンレッスンでしっかり学習

自学自習が難しいWritingをマンツーマンで講師が指導いたします。
保護者様はレッスン終了後に直接、自分の強み・弱みを講師に確認することができます。

③フィードバックシートをレッスン終了後に配布

講師が作成するフィードバックシートで復習するべきポイントが明確にわかります。
シートを用いて自分自身で、また保護者様と一緒に継続して試験日まで学習することができます。

集中講座以外の時期は、通常のGrad Chatのレッスンと同じ枠内で日本人英検講師のレッスンがReading・Writing共に、グループ／マンツーマンを自由な組み合わせで受けられます。

グラッドチャット詳細やレッスン動画、Q&Aは紹介サイトで確認できます！
お問い合わせ・お申し込みは、TEL：06-6573-0166　E-mail：support@gc.kinderkids.ed.jp まで

担当講師からのメッセージ

Hitomi 先生

心の状態は、モチベーションと能力を最大限に引き出す集中力に深く関わっています。レッスンでは、子どもたちが元気な心で学び、「できた！」と感じる瞬間を積み重ねることで、自信と達成感を養い、積極的に挑戦する心を育てます。
英検に出てくる問題には、小学生の皆さんにとって、まだ学んでいない世界の歴史、地理、環境やテクノロジーの文章がよく出てきますね。問題文の英語は読めるけれど、お話の意味がわからず、解答に悩んでしまうことがあると思います。毎日の生活の中でよく目にするカタカナ言葉やテレビでよく耳にする言葉で、意味を知らない言葉に出会ったら、お父さん、お母さん、先生を質問攻めにして教えてもらい、頭の辞書に書き加えていきましょう。皆さんの高い英語力に加えて、頭の中に分厚い辞書があれば、英語最強キッズ！きっと英検の問題文も読むのが楽しくなると思います。

Successful Examinee

Grad Chat Eiken Lesson

2023年度（第2回）英検 合格者の声

9月度英検集中講座受講者の実績　【3級】6名受講／2名合格　【準2級】12名受講／4名合格

Examinee T.Y.くん　卒園スクール 高槻校

お母さんに勧められて「英検対策集中講座」を受講しましたが、説明がわかりやすくてとても良かったです。また受けられる時は「Eikenボキャブラリービルディング」も受講しました。合格できて本当に嬉しいです。

受験時の学年：G2
合格級：準 2 級

お母様より サッカーの練習にも通っていてなかなか時間が取れないため、自宅で受けられるオンラインレッスンで自分の都合が良い時間を選べることはとても魅力的で、Writingの添削、保護者へのフィードバックもとても助かりました。一緒に受けていたメンバーが同じ卒園校のお友達だったので良い刺激を受け、やる気も上がり楽しくレッスンを受けていたようです。学年が上がるにつれて他にやりたいことが増えていく中で、Grad Chatの英検レッスンは英検にチャレンジするきっかけにおすすめだと思います。

Examinee M.S.くん　卒園スクール 高槻校

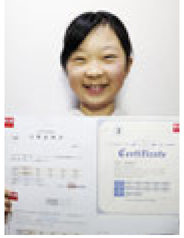
Writingの勉強が難しかったので、コツを教えてもらいたくて受講しました。自分が作った文章を、先生に添削してもらい、長文の作り方を教わることができてとても助かりました。合格を知った時はとても嬉しかったです。

受験時の学年：G2
合格級：準 2 級

お母様より 受験をすると決めてからあまり時間がなかったですが、Grad Chatを受けて先生に改善点や苦手分野をどう勉強すれば良いか教えていただいたことが合格につながったと思います。集中コースで先生からのアドバイスやコツを教えてもらったことで自分のWritingに自信を持てたようでした。私にとっても息子をキンダーに通わせられたことで、英語に対し同じ気持ちを共感してくれるお母さんたちと情報交換できたことがすごく心の支えになりました。

Examinee N.S.ちゃん　卒園スクール 茨木彩都校

試験まであまり日数もなく、家族での勉強では限界があったので受講しました。みんなより英検に挑戦するのが遅かったのでプレッシャーも感じていましたが、合格できて良かったです。将来アメリカの大学に行けるように、もっと英語を頑張りたいです。



受験時の学年：G3
合格級：3 級

お母様より 過去問を使用して苦手だったReadingの解き方をわかりやすく教えていただいけました。子どものクセ（「is」を多用している等）を指摘していただき意識して直せたり、加点につながる解答へ導く具体的な指導がとても良かったと思います。日本語でアドバイスをしてくださっているのを家族が一緒に聞けるので、復習する時に子どもにアドバイスがしやすかったのもとても良かったと思います。家族に寄り添ったサポートをしていただき、自信を持って試験に臨むことができました。